

INSIDER  
GUIDES  
from GoUSA

# アイランド・ ディスカバリー・ シリーズ

アメリカ領ヴァージン諸島とプエルトリコ



島を1つ訪れるだけでもかなりリラックスできますが、プエルトリコとアメリカ領ヴァージン諸島の島々で過ごす休暇は格別です。アメリカ領ヴァージン諸島には、セントトーマス島 (**St. Thomas**)、セントクロイ島 (**St. Croix**)、ウォーター島 (**Water Island**)、セントジョン島 (**St. John**) の4つの大きな島と、50もの小さい島と岩礁が含まれます。プエルトリコは、プエルトリコ (**Puerto Rico**)、ビエケス島 (**Vieques**)、クレブラ島 (**Culebra**) の3つの大きな島と、140もの小さい島と岩礁、小島で構成されています。島巡りには飛行機やフェリー、チャーターボート、水上タクシーが利用できます。交通機関によっては運航する季節や区間が限られている場合があるので、移動手段の下調べをしっかりとっておきましょう。島にはそれぞれ個性があり、体験できることもさまざま。1度の滞在では到底カバーしきれないので、再訪するつもりで計画を立てましょう。訪れる度に新たな発見ができるような旅程を組むことをおすすめします。

## プエルトリコ

### 1~3日目

プエルトリコで最も大きい島首都であり、島で最も大きな街であるサンファンに滞在し、街の郊外で生き生きとした文化を体験したり、美しいビーチや公園など自然の驚異に触れたりしましょう。サンファンでは、400年の歴史を持つエルモロ要塞 (**El Morro fort**) をはじめとする、この街の代表的な観光名所を巡ります。6階建ての要塞には城壁、塔、砲台があり、何世紀にもわたって改築や増築が繰り返されてきました。このような国際都市にふさわしく、サンファンには驚くほどさまざまな種類のレストランがあります。リゾートスタイルの高級レストランから、オールドサンファンの狭い路地にある家族経営の小さなレストラン、本物の島の郷土料理を売る色とりどりのフードスタンドやフードトラックまで、お好みに合わせて選べます。ショッピングを愛する人にも、同じように幅広い店の選択肢があります。地元で作られた陶器、ジュエリー、ハンドメイドのレースをお探しながら、オールドサンファンの歴史ある建物へ向かいましょう。コンダード地区の近くのアシュフォードアベニュー沿いでは高級ブティック店でのお買い物を楽しむことができます。日が暮れると、ラテン気質のこの街のナイトクラブ、ディスコ、バーは、音楽と熱狂的なダンサーであふれ、まさにヒートアップします。プエルトリコで2番目に大きな街であるポンセは、アールヌーボー様式とネオクラシック様式をミックスした奇抜な建築物があることで知られています。ポンセ建築博物館 (**Museum of Ponce Architecture**) を訪れて、カタルーニャ地方の文化と結びつきのある、この街の建築と文化の歴史を学びましょう。街で最も目

立つ建物は、黒と赤のストライプで彩られたパルケ・デ・ボンバス (**Parque de Bombas**)。かつては消防署として使われ、現在は博物館になっています。この博物館は1880年代のスペインの建築様式で建てられていますが、ゴシック様式の城か、その時代のスペイン人のムーア風邸宅のように見えます。近くにあるポンセ美術館 (**Museo de Arte de Ponce**) と、スペインコロニアル様式の邸宅を再現したカスティージョセラレス (**Castillo Serrallés**) もぜひ見学しましょう。この建物は、プエルトリコのラム酒製造業の歴史に関する博物館に転用されています。エルユンケ国立森林 (**El Yunque National Forest**) は、生物学的多様性を維持していることで知られる、熱帯雨林と国立自然保護区です。ここでは、うっそうとしたトレイルを抜けて見事な眺望を楽しんだり、滝壺の天然のプールで泳いだりすることができます。リオカムイ洞窟公園 (**Rio Camuy Cave Park**) の地下もぜひ訪れたいスポット。世界で第3位の長さの地下河川の浸食によって形成された200以上の洞窟が網の目のように広がっています。石筍、鍾乳石、120メートル下に地下河川を見下ろす巨大な陥没穴を探しに行きましょう。カリブ海有数のビーチがあるこの島は、ビーチ好きの人にもびったり。静かな穴場から、高級ホテルやリゾートが建ち並ぶ人気スポットまで揃っています。カヤック、シュノーケリング、パラグライディング、スタンドアップパドルボードなどのウォータースポーツも楽しめます。宿

宿泊地: プエルトリコ



オールドサンファン



サンファンズのジップラインパーク

## プエルトリコのビエケス

4~6 日目

プエルトリコ東端の沖合にあるビエケス島 (**Vieques**) には、極めて貴重な 40 カ所ものすばらしいビーチと、バイオルミネセントベイ (**Bioluminescent Bay**) があります。この湾では、微生物によって水面が青緑色に光る現象を、夜のカヤックツアーで観察できます。陸地では、この 350 平方キロメートルの島を駆けまわると、野生の馬が見られます。島のほとんどは、ビエケス国立野生動物保護区 (**Vieques National Wildlife Refuge**) として保護されています。ビエケス要塞 (**Fuerte de Vieques**)、通称エル・フォルティン・コンデ・デ・ミラソル (**El Fortín Conde de Mirasol**) は、19 世紀半ばのスペインの要塞を一部復元したもので、現在はビエケス芸術歴史博物館 (**Vieques Museum of Art and History**) として使用されています。

宿泊地: ビエケス島

## プエルトリコのクレブラ

7~9 日目

日常の疲れを癒やしたい時には、手つかずの自然が大半を占めるこの島を訪れ、熱帯のパラダイスを満喫しましょう。カリブ海で最も健康状態のよいサンゴ礁が点在するクレブラ島周辺は、最高のシュノーケリングスポットです。島全体がリラックスした雰囲気にも包まれているため、のんびりとカジュアルに休暇を過ごしながら心身を充電することができます。カヤックやハイキングを楽しんだり、手つかずの砂浜へ出かけたり、カリブの青い海で泳いだりと、思い思いにお過ごしください。

宿泊地: クレブラ島

**INSIDER  
GUIDES**  
from GoUSA

## アメリカ領ヴァージン諸島のセントトーマス島

10～14 日目

トーマス島 (**St. Thomas**) は、島中にたくさんの店がある、免税ショッピングの天国です。シャーロットアマリーのダウンタウンの狭い通りにある、改装されたデンマーク植民地時代の倉庫には、高級ジュエリー店や有名ブランドのファッション店が集まっています。花が咲き乱れる中庭に面した狭い路地には、選りすぐりのブティックやギフトショップが隠れています。シャーロットアマリーのガバメントヒル (**Government Hill**) にあるブラックビアーズキャッスル (**Blackbeard's Castle**) は、アメリカ領ヴァージン諸島にある 5 つの国定歴史建造物のうちの 1 つ。1600 年に建てられたこの建造物は、かつて有名な海賊が見張り塔として使っていたのだと地元の人たちは言います。99 段の階段を上って、セントトーマス港 (**St. Thomas Harbor**) を見下ろしましょう。島の東端のレッドフックでは、地元のアーティストの作品や、カジュアルな休日用の服が見つかります。マウンテントップ (**Mountain Top**) で、周辺の島々の見とれてしまうほどすばらしい眺めを楽しみ、お土産を買きましょう。ゆったりと午後のひとときを過ごしたい時は、絵はがきのように美しいマゲンズベイ (**Magens Bay**) へ。青緑色の澄んだ海で泳いだりシュノーケリングをしたりするのも、真っ白な砂浜でただのんびりするのをおすすめです。コーラル・ワールド・オーシャン・パーク (**Coral World Ocean Park**) では、海中展望塔から熱帯の海洋生物を観察したり、潜水艦のような乗り物に乗ってサメやカメやアシカを見たりしましょう。島の山々は険しく、道は曲がりくねっているため、カーブを曲がるたびに絶景が目の前に現れます。1933 年に建設されたドレークスシート (**Drake's Seat**) は、島の中央部にある人気の展望台です。スカイライド・トゥ・パラダイス・ポイント (**Skyride to Paradise Point**) は、クルーズ船埠頭の向かい側から出発します。頂上ではパノラマビューを堪能し、トロピカルドリンクを片手に夕日に乾杯しましょう。

宿泊地: セントトーマス島

## アメリカ領ヴァージン諸島のセントジョン島

15～16 日目

全体の 3 分の 2 が手つかずのビーチやヴァージン諸島国立公園 (**Virgin Islands National Park**) などで占められているセントジョン島は、理想の休暇先です。セントトーマス島から船で 15 分の場所にあり、ほとんどの人がフェリーの船着場のあるクルズベイ (**Cruz Bay**) に上陸します。最初の目的地はマンガースジャンクション (**Mongoose Junction**)。石と木材を複雑に組み合わせた美しい建物の中に、質の高い美術工芸品の店と、気軽に楽しめる食事から高級料理まで、さまざまなレストランが入っています。レモン・ツリー・モール (**Lemon Tree Mall**) にあるピンクパイパヤ (**Pink Papaya**) は、カリブ人アーティストによるオリジナル作品を専門に扱っています。屋根のないサファリバスに乗り込んで山沿いの道を少し進むと、トランクベイ (**Trunk Bay**) に到着します。乗り物からの景色にはそれほど驚かない人でも、このすばらしいビーチを見れば思わず息をのむことでしょう。シュノーケリングの道具をレンタルして、海底に設置された水中トレイルの標識をたどりながら、サンゴや熱帯魚を探してみましょう。道が曲がりくねった静かな町、コーラルベイでは、有名なスキニーレッグ (**Skinny Legs**) でハンバーガー片手にのんびりしてはいかがですか。まるで非公式なタウンホールのように、いつも人がいっぱいのお店です。クルズベイに戻る際に通るセンターラインロード (**Centerline Road**) では、道路の真ん中にあるロバヤヤギに気を付けて。ちょっと寄り道して、セントジョン島の最高峰であるボルドー山 (**Bordeaux Mountain**) に行き、標高 390 メートルからの眺望を楽しみましょう。

宿泊地: セントジョン島



アメリカ領ヴァージン諸島のセントトーマス島

## アメリカ領ヴァージン諸島のセントクロイ島

17～18 日目

アメリカ領ヴァージン諸島で最大の島であるセントクロイは、セントトーマス島の 64 キロメートル南に位置しています。地元の人も観光客も、クリスチャンステッドのダウンタウンへ水上飛行機で上陸します。この町は、日影のある遊歩道、石造りのアーチ、そしてレモンイエローのクリスチャンスバーン砦 (**Fort Christiansvaern**) で有名です。ここには、この地域の戦争の歴史に関する展示が収められています。もう 1 つの町のフレデリックステッドでは、18 世紀のプランテーション時代を物語るウィム農園博物館 (**Estate Whim Museum**) の奴隷宿舍、農園主の邸宅、製糖所などの歴史的建造物を訪れてみましょう。シュノーケリングやダイビングがお好きな方には、手つかずのままの自然が残るバック・アイランド・リーフ国立公園 (**Buck Island Reef National Monument**) でのツアーがおすすめ。珊瑚礁と色とりどりの魚が待っています。クルーザンラム酒蒸留所 (**Cruzan Rum Distillery**) やキャプテン・モーガン・ラム酒蒸留所 (**Captain Morgan Rum Distillery**) へのツアーに参加して、試飲を楽しむのもおすすめです。

宿泊地: セントクロイ島

## アメリカ領ヴァージン 諸島の ウォーター島

19～20 日目

セントトーマス島からフェリーでわずか 8 分の所にあるウォーター島は、2 平方キロメートルという狭い面積ながらも、見どころやアクティビティには事欠きません。島にレストランはありますが、車、スーパーマーケット、ガソリンスタンドはありません。島の交通手段はレンタルのゴルフカートです。日帰りでも、数日の滞在でも充分楽しめますが、必要な物はすべて持参する必要があります。ハネムーンビーチ (**Honeymoon Beach**) は、この島を代表する名所の 1 つ。静かな入り江に位置し、ビーチバーとグリルを完備しています。ダイビングやシュノーケリングを楽しみたい方は、ライムストーン湾へ向かいましょう。

宿泊地: ウォーター島

**INSIDER  
GUIDES**  
from GoUSA

セントジョン島のトランクベイ



アメリカ旅行のヒントやアイデアが満載のGoUSA.jp をご覧ください。